

## ■平成25年9月2日 文教くらし委員会県内調査

### 1. 称念寺本堂（橿原市今井町）

【調査目的】文化財の保存修理工事について

【調査概要】称念寺本堂における保存修理工事の説明を受け質疑の後、現地調査を実施。

#### <称念寺本堂における文化財保存修理工事の概要>

- ・中世末の大和において、浄土真宗の布教が本格化されるなかで、今井は寺内町（じないちょう）として成立し、称念寺はその中核となった浄土真宗本願寺派の寺院。
- ・本堂の建立は江戸時代初頭と推定され、明治10年、明治天皇の今井行幸に際し、周辺建物を含めた整備が進められた模様。
- ・平成4年の大雨により、老朽化していた西面の屋根瓦が崩落したため、鉄板仮葺で応急修理を実施。
- ・平成10年の台風災害の際には、南面に補強材を挿入し、北面の軒先や屋根面を養生板や鉄板で覆った。
- ・基礎、軸部等の基礎となる部分の破損状況が著しく、また屋根は葺土が流れことによる瓦のずれ落ちが見られ、崩落寸前。一部屋根瓦を降ろし、鉄板で借葺きして道路への落下を防ぐ措置を実施。
- ・修理工事にあたっては、半解体を行い、軸部を残して実施。
- ・工事期間は平成22年4月から平成31年末としており、総事業費は約16億円。
- ・解体中に分かった当初の形式等（使用されている材料等から分析）について、可能な限り復元を行う。

#### <質疑応答>

Q：国指定の重要文化財の場合、総事業費に対する負担割合は決まっているのか？

A：決まりはあるが、寺の経済状況（収入状況）により、負担割合が決まる。

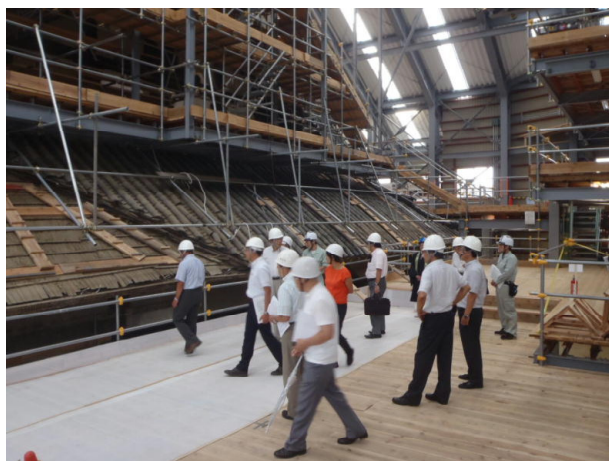
国指定の重要文化財の場合、国からの補助の上限は85%（下限は50%）、県は5%（下限は3%）となる。

称念寺本堂の場合は、国85%、県5%、市5%、称念寺の負担が5%である。

Q：称念寺としては、かなり以前から補修工事を望んでいたようであるが、今回の修復工事に至った経緯は？

A：寺としては、自力（自己負担のみ）での補修工事は困難。

平成14年度に重要文化財の指定を受けた後、関係各位の援助等があり工事着手至った。



## 2. 奈良県立磯城野高等学校（磯城郡田原本町）

【調査目的】 特色ある教育の取組について

【調査概要】 磯城野高等学校における取組内容の説明を受け質疑の後、現地調査を実施。

### <磯城野高等学校取組みの概要>

- ・「人と自然を環境の視点から学ぶ専門高校」として、農業系3学科（4クラス）、家庭系3学科（3クラス）の編成。
  - ・実践の体験型教育を主として授業を展開し、衣食住の分野で創造的に活躍できるスペシャリストを育成。
  - ・厚生労働省の指定を受けており、フードデザイン科のシェフコースで調理師免許、パティシエコースで製菓衛生師の国家試験の受験資格を得ることが可能。
  - ・生徒を輝かせるという観点を念頭に生徒が活躍できる場の仕掛けづくりを実施。
  - ・産学連携事業として、大和物産株式会社（小麦粉を中心とした食品原材料の卸売り会社）からパウンドケーキ「～ICHI・CYA～」(いちちゃ)を販売。
  - ・生徒心得ABC:「A→当たり前のことを」、「B→ぶれずに」、「C→ちゃんとする」
  - ・スローガン→「磯城野ファミリー、オール、広告塔になろう」
- ※登下校も含めて、自分達の活動を様々な人に見てもらい、生徒それぞれが磯城野高校の広告塔になっていくべきとの考えを念頭において指導を実施。

### <質疑応答>

- Q：昨今の時世を考えるとなかなか希望どおりに就職することが難しいと思われるが、生徒が希望したとおりに就職ができているのかどうか、お聞きしたい。
- A：生徒の思いをくみ上げて、いかにマッチングできるかが重要。積極的にインターンシップへ行き、仕事の内容を理解した上であれば、希望した会社でなくても、同じ職種に就職できるとミスマッチが少ない。1回目の求人では採用されなかったとしても、自分の希望する職種に2回、3回とチャレンジするよう指導している。
- Q：毎日放送で放映された「カレー甲子園」での活躍を拝見した。それらを含めて、バイオ技術科やフードデザイン科の卒業生の進学先、就職先における評価はどのようなものか？
- また、修学内容とマッチした会社から入社のお誘いはあるか？
- A：在学中に技能五輪で入賞した卒業生について、造園会社からお誘いがあり、3名が入社している。また、会社のご厚意により23歳まで参加できる技能五輪に、就職後も引き続き参加している。
- シェフコースやパティシエコースの卒業生では、インターンシップの際にオーナーから気に入られ、そのまま就職につながったという事例もある。

